

2014

第3号

若者がつくる広報ニューしすい

YOUNG EYES



～酒々井プレミアム・アウトレットより～



◆編集 / 広報ニューしすいYoung Eyes編集委員会

◆発行 / 酒々井町経営企画課 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043 (496) 1171

Halloween Party

ハロウィンパーティー



仮装集団で大賑わい



昨年10月20日、中央公民館でハロウィンパーティーが開かれました。台風の影響で大荒れの天候にもかかわらず、老若男女270名の方がイベントに参加して会場を埋め尽くし、魔女の格好やカボチャのお面などを被った人々が行き交い、大いに賑わっていました。

このイベントは、順天堂大学の学生が授業の一環として企画し、町の住民の方々と役割にプレゼンテーションし、大学、行政、市民が協力して行われたものです。

予想を超える参加者に、会場は一時混乱するほどでしたが、子どもたちも大人もみんなが笑顔で楽しい時間を過ごしている様子に温かさを感じることができたイベントでした。



手作りゲームズが大人気!

幽霊列車(写真上)、おもちゃ釣り、フルーツバスケット…体を動かしてみんなで楽しめるゲームが子どもたちに大人気!大はしゃぎの子どもたちを見て、保護者の方からは「普段はTVゲームばかりしていて、体を使って遊ぶことを知らないまま成長してしまうのではないかと心配でした。」「今回のイベントのように、子どもたち自らが工夫して友達と一緒に遊ぶための企画をしてほしい。」などの要望もありました。



突撃! 順大生

イベント終了後、今回活躍した順天堂大学の学生に感想を聞いてみました。

みなさん学年は違いますが、みな健康社会学研究室に所属

され、日ごろから健康と地域コミュニティについて学ばれているそうです。



取材 小野 博



このような経験ができて、町とつながりが持てる順大生でよかったです。

山本 泰士さん



子どもたちと交流できて至福の時でした。また、参加したいと思います。

野上 政彦さん



イベントはよくできたと思います。自分の地元でも同じ活動してみたいです。

本沢 晶雄さん



一歩、自分自身が成長できたと思います。

郡司 航さん



子育て支援のお役にたててよかったと思います。今後も携わっていきたいです。

山本 健次さん

第35回 ふるさとまつり

昨年11月16日、17日の両日に役場駐車場と中央公民館をメイン会場に第35回ふるさとまつりが開催されました。

私たちが生まれるずっと以前からこのまつりが続いているんだな…などと思いにふけりつつ、たくさんのお店やイベントが催された会場のあちらこちらを探索してみました。

まず、書かなくてはと思ったのは、井戸っこ「しすいちゃん」の1歳の誕生日会セレモニーが、会場中央の特設ステージで行われていたことです。

園児や近隣市町のキャラクターがお祝いに駆けつけて誕生日会を盛り上げていました。それから、酒々井ブランドの商品の試食がありましたので、下欄に感想などを記してみました。



発見！ご当地グルメ 酒粕カレー

私は“酒粕カレー”を頂きました。カレーに…酒粕？と味を想像できませんでしたが、頂いてみると凄くマイルドな風味でおいしい逸品でした。これには新しい発見とともに、「酒」との関わりの深い酒々井らしさも感じました。また、参加者へのアンケートも実施されていたので、今後も味や商品の開発が進んでますます地元の味が広まり、ブランド活動が活性化されるのではないのでしょうか。

高島試食



独特の風味に ぞっこん にんにく 力味噌



私は、酒粕カレー、にんにく力味噌、おつまみラー油をそれぞれ試食してみました。どれも個性があっておいしいのですが、個人的には、にんにく力味噌にハマってしまいその場で即購入。わが家のご飯のお供としておいしく頂いています。

高田試食



「蔵人まかないの酒粕カレー」という張り紙が示すとおり飯沼本家で働く方々のまかないとして食べられていたものだそうです。まかないメニューが一部人々の間で人気の火種となって表の商品に変化するのには昨今珍しくないけれど、正直おいしくて、ここにもあったのか、という感想です。

これからはレトルトにも商品化され県内の道の駅などで発売されるそうです。

どれも絶品！



取材 中台陽一郎・高田真理子
高島由香

新酒の味と香りをもとめて
4,000人が来場

第8回 酒々井新酒祭

昨年11月24日、飯沼本家敷地内において、第8回酒々井新酒祭が開催されました。

緑の木立に包まれた静寂の中にある蔵元「飯沼本家」、会場となったその酒蔵に今年は天候に恵まれたこともあり4,000人もの方々が訪れ、大きな賑わいを見せていました。

この祭は、「酒々井すいすい倶楽部」の方々が中心となって、約半年間をかけて計画と準備を進めてこられ、地元の方々と行政と協働して開催されるイベントで、来場者も年々増えているそうです。

会場では、午前10時過ぎに新酒の振る舞い酒が配られ始めると、新酒をもとめる人波が大きく動き出しました。人々は新酒の味を堪能したり、出店を廻ったり、イベント公演などを観覧したり、思い思いに祭を楽しんでいました。

また、くつろぎの場として今年から新たに開放された芝生広場では、小春日和の中、仲間や家族などがグループごとに輪を囲んで食事や会話を楽しむ光景も見られました。



若い人たちが祭に協力参加していました



記者は、新酒の前に仕込みの水となる地下水をグイッと試飲



取材 中台陽一郎・高田真理子

ご存じですか？ 酒々井町ライトスポーツクラブ

昨年11月13日、酒々井中学校体育館で酒々井町ライトスポーツクラブが開催されました。私が取材に行ったこの日は、子どもから70歳代の方まで幅広い世代の方が約30名参加していて、参加の理由も「動きたい」、「子どもが待ち望んでいた」など様ざま。

指導者の方による準備体操と競技ルールの説明のあと参加者は「さいかつぼーる」、「バドボン」、「室内ペタンク」など思い思いに興味のあるスポーツを楽しんでいました。

親子や仲間に参加されている方が多く見られましたが、ひとりで参加されている方にも周りの方々が声を掛けて誘っていて、とても居心地がよい空間に感じました。知らない人同士がスポーツを通じて仲良く汗をかいている様子に、この活動が新たな居場所づくりにもなっているように感じました。私もバドボンやペタンクに参加し、普段交流の無い世代の人と、楽しみながら話すことが出来てとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



ひとりでても
気軽に参加
できました

取材 沼澤かすみ